

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	十字園グループホーム
日付	平成16年12月14日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	特別養護老人ホームでの介護歴 15年 在宅介護支援センターでの相談歴 11年、家族介護歴 3年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<p>入居者に対する細やかな心配りが職員全員できており、日常生活の中での「できること」への援助、ホーム内での役割を持つことなどの援助ができていました。</p> <p>個人の尊重も言葉だけでなく、心から相手を理解する気持ちが援助のなかに表れ、全員が自然のスタイルで生活しているように見受けられました。</p>
特に改善の余地があると思われる点
<p>ハード面については施設という印象が強く感じられました。そのため、スタッフがソフト面を充実させても生かされない部分があるように思いました。同じ作りの部屋でも、一般家庭で使用している家具・調度品などを利用し、家庭の雰囲気を出すことによって職員の対応が生きてくるのではないのでしょうか。</p>

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 事業所の方から、以下のお話をうかがうことができました。 ・地域の中で、グループホームがひとつの家庭として受け入れられること。 ・職員だけが入居者の支援をするのではなく、家族と共に地域に溶け込んで生活できるよう目指しています。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 職員が入居者との関わりを大切に、落ち着いた場を演出していました。日常会話を大切にしながら食事を行ったりなど、自然な家庭生活を演出されていました。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 今までの生活を理解し、また、家族からの聴き取りなどで個人の持っている力を尊重し、それぞれの入居者の方が役割を持ちながら生活できるよう援助しています。 また、援助する時には、常にさりげなく、意欲を持たせるような働きかけを行い、個人を大切にしていました。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 常に情報の共有を行い、問題となる事例だけでなく、何事もその都度話し合いの場を持つようになっています。		